

CRS用ベルトカバー

取扱説明書

CRS-A

はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。
なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

安全のため必ず守っていただきたいこと。

▲ 警告 …… もし守らないと、重傷事故を引起すことがあります。

▲ 注意 …… もし守らないと、負傷事故を引起すことがあります。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社までお問合わせください。

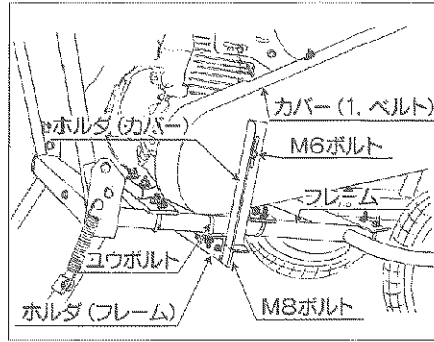
軽微故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

▲ 警告

●本機はCR-160・190・210型カッタとエンジンをCRS（セットカー）に搭載する場合のカバーとして設計されています。このほかの用途には使用できません。

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

- ⑤ホルダ（カバー）をホルダ（フレーム）にM8ボルトで、カバー（1. ベルト）にM6ボルトで仮止めします。
座金組込ボルトM6×16 …… 1個
座金組込ボルトM8×20 …… 1個
- ⑥カバー（1. ベルト）をセットカーのフレームに平行にし、M8ボルト、M6ボルト、ユウボルトを締付けます。



定期点検と調節

▲ 注意

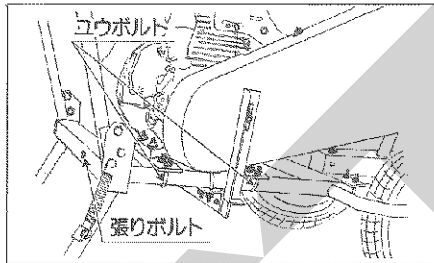
- 点検作業は必ずエンジンを停止し、カッタが止まってから行なってください。
- 点検で外したカバーは必ず元通りに取付けてください。

点検・調節

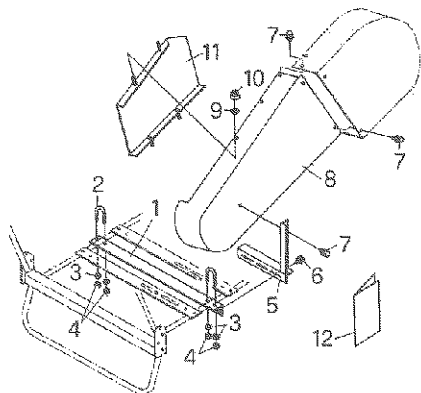
項目	実施時期
ベルトの張り	20時間ごと・交換時
ベルトカバーの掃除	10時間ごと

■ ベルトの調節

ベルトがスリップしたときは、ユウボルトをゆるめ、張りボルトを締込んでください。



純正部品表



図番	コードNo.	部品名称	個数	備考
1	17813-1111-1	ホルダ(フレーム)	1	
2	17811-1112-1	ユウボルト 2	2	
3	04512-53080	パネチガネ	4	M8
4	02114-53090	ナット	4	M3
5	17813-1112-1	ホルダ(カバー)	1	
6	01125-53820	ボルト	2	M8×20
7	01025-53810	ボルト	5	M8×16
8	17813-1113-1	カバー(1. ベルト)	1	
9	57471-5117-1	19マルサ	4	M6φ19×1.6
10	02121-57060	フランジナット	4	M6
11	17813-1114-1	カバー(2. ベルト)	1	
12	17813-1116-1	ドライブホイール	1	

注意 安全のため必ずお守りください

1. 使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解すること。
2. 組付作業は必ずエンジンを停止した状態で行なうこと。
3. 作業前にエンジンの周囲にあるわらくず・ごみなどをきれいに取除くこと。
4. カバー類を外したままで回転させない。
5. エンジンの始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。
6. 点検作業は必ずエンジンを停止し、カッタが止まってから行なうこと。

使用前の準備

注意

- 組付作業は必ずエンジンを停止した状態で行なってください。
- カバーを外したままで回転させないでください。回転体に巻込まれケガをします。

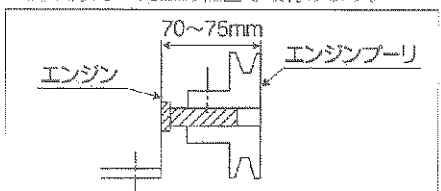
1. エンジン・プーリ径・Vベルトサイズの選定

- エンジン 4.0~6.5P S
- プーリ径 B-31/2
- ベルトサイズ B-68・69

■上記以外のエンジン・プーリ径・ベルトサイズではセットできない場合があります。

2. エンジンプーリの取付け

エンジンプーリはボスをエンジン側にして打込み約70~75mmの位置で取付けます。

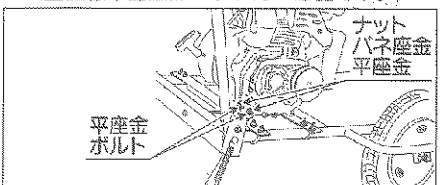


3. エンジンの取付け

エンジンをセットカーハンドル側のベースに仮止めします。

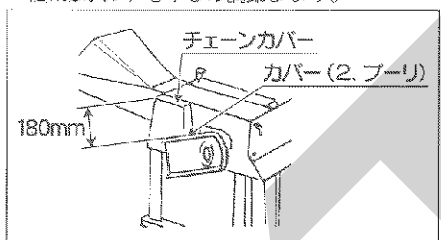
- M8×40ボルト……………4個
- M3平座金……………8個
- M8パネ座金……………4個
- M8ナット……………4個

(上記標準部品はセットカー部品です。)



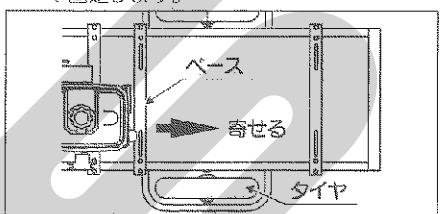
4. カバー (2. プーリ) の調節

チェーンカバー左上角部より約180mmの位置にM6ボルトをゆるめ調節します。



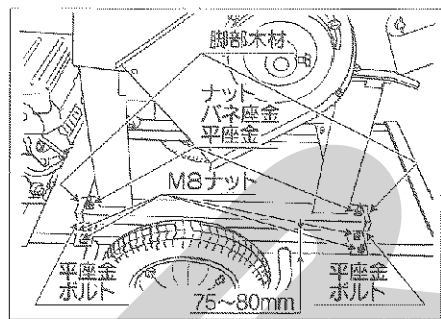
5. カッタの組付け

①エンジン側のベースをタイヤ側一杯に寄せ固定します。



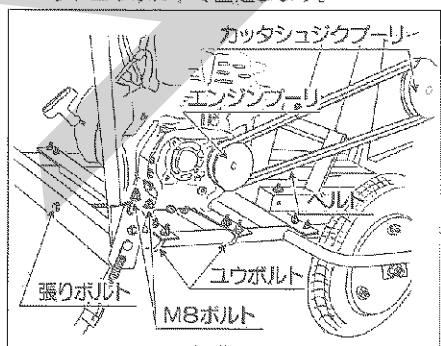
②細包材の脚部木材、又は30mmの木材をカッタ土台部に差込み、ベースの端から75~80mmの位置で固定し、ベース部M8ナットも固定します。

- M8×80ボルト……………4個
 - M8平座金……………8個
 - M8パネ座金……………4個
 - M8ナット……………4個
- (上記標準部品はセットカー部品です。)



③カッタシュジクプーリセンターにエンジンプーリのセンターを合わせ、エンジン仮止め用のM8ボルトを固定します。

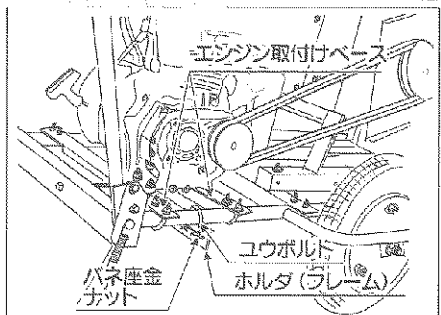
④カッタシュジクプーリとエンジンプーリにベルトを掛け、セットカーの張りボルトでベルトがスリップしないようにベルトを張り、ユウボルトで固定します。



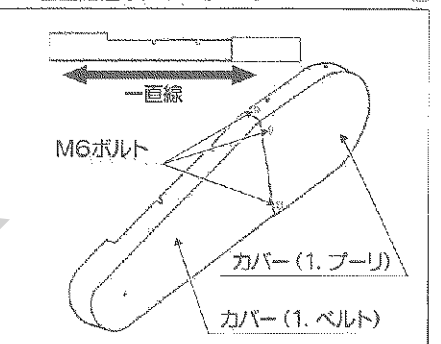
6. ベルトカバーの組付け

①エンジン取付けベース間のセットカーパイプ下面にホルダ(フレーム)をユウボルトで仮止めします。

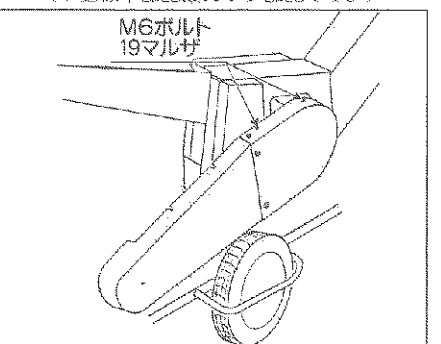
- M8パネ座金……………4個
- M8ナット……………4個



②カバー (1. プーリ) の面とカバー (1. ベルト) の直が一直線になるよう組付けます。
座金組込ボルトM6×16……………4個



③カッタにカバー (1. プーリ) ・カバー (1. ベルト) を組付けます。
M6×14ボルト……………4個
19マルザ……………4個
(上記標準部品はカッタ部品です。)



④カバー (1. ベルト) にカバー (2. ベルト) を組付けます。
M6フランジナット……………4個
19マルザ……………4個

